



平成28年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年9月10日

上場取引所 東

上場会社名 神島化学工業株式会社
コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成27年9月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第1四半期の業績(平成27年5月1日～平成27年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第1四半期	5,383	△0.4	91	△53.7	78	△54.1	39	△71.1
27年4月期第1四半期	5,403	19.4	197	31.3	171	43.5	136	136.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第1四半期	4.30	—
27年4月期第1四半期	14.88	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第1四半期	20,187		5,164			25.6
27年4月期	18,253		5,159			28.3

(参考)自己資本 28年4月期第1四半期 5,164百万円 27年4月期 5,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年4月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年4月期	—	—	—	—	—
28年4月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年4月期の業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,400	7.9	490	36.5	410	36.7	260	△5.6	28.40
通期	22,800	10.2	960	42.8	810	44.5	520	20.1	56.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期1Q	9,240,000 株	27年4月期	9,240,000 株
28年4月期1Q	86,753 株	27年4月期	85,688 株
28年4月期1Q	9,153,823 株	27年4月期1Q	9,158,135 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策による効果などを背景に、企業収益や雇用環境の改善、個人消費の持ち直しの動きが続くなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

住宅市場においては、全体として回復基調でしたが、当社主力商品である窯業系建材は、やや厳しい環境で推移しました。

このような経済・経営環境の中、売上高につきましては、53億83百万円と前年同四半期比19百万円(0.4%)の減収となりました。

損益面では、当期5月に譲受したラムダ事業の一時的な費用負担による減益要因があったことなどから、営業利益は91百万円と前年同四半期比1億6百万円(53.7%)、経常利益は78百万円と同92百万円(54.1%)、四半期純利益は39百万円と同96百万円(71.1%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 建材事業

建材事業におきましては、建材マーケットが不振の中、新たに外装材事業(ラムダ事業)を譲受し、非住宅分野の拡充などに取り組んだことにより、売上高は37億16百万円と前年同四半期比1億72百万円(4.4%)の減収に留まりましたが、セグメント損失(営業損失)は前述のとおりラムダ事業の一時的な費用負担などから1億55百万円と同2億38百万円の減益となりました。

② 化成品事業

化成品事業におきましては、海外需要が堅調に推移したことにより、売上高は16億67百万円と前年同四半期比1億52百万円(10.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)も3億71百万円と同1億33百万円(56.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の総資産は201億87百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ19億33百万円増加いたしました。このうち、流動資産は117億38百万円と前年度に比べ14億66百万円増加いたしました。主な増加要因は現金及び預金が7億45百万円、受取手形及び売掛金が4億6百万円、原材料及び貯蔵品が1億85百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は84億48百万円と前年度に比べ4億66百万円増加いたしました。主な増加要因は、有形固定資産が4億9百万円、投資有価証券が57百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、86億89百万円と前年度に比べ9億8百万円増加いたしました。主な増加要因は、短期借入金が8億90百万円増加したことによるものであります。

固定負債は63億33百万円と前年度に比べ10億19百万円増加いたしました。主な増加要因は、長期借入金が10億28百万円増加したことによるものであります。

純資産は、51億64百万円と前年度に比べ4百万円増加いたしました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金が39百万円増加したことによるものであります。減少要因は、利益剰余金が33百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期の業績につきましては、平成27年6月10日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,237	1,983
受取手形及び売掛金	4,985	5,391
商品及び製品	2,428	2,506
仕掛品	633	591
原材料及び貯蔵品	735	920
繰延税金資産	133	101
その他	120	246
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,271	11,738
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,066	2,234
機械及び装置（純額）	2,596	2,775
土地	1,305	1,305
その他（純額）	691	753
有形固定資産合計	6,660	7,069
無形固定資産	13	26
投資その他の資産		
投資有価証券	796	853
繰延税金資産	356	344
その他	156	154
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,309	1,352
固定資産合計	7,982	8,448
資産合計	18,253	20,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,947	2,922
短期借入金	1,420	2,310
1年内返済予定の長期借入金	1,756	1,897
未払金	809	708
未払費用	224	273
賞与引当金	244	122
設備関係支払手形	152	221
その他	226	231
流動負債合計	7,780	8,689
固定負債		
長期借入金	3,494	4,523
退職給付引当金	1,317	1,321
役員退職慰労引当金	110	113
その他	390	375
固定負債合計	5,313	6,333
負債合計	13,094	15,022

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	2,592	2,558
自己株式	△29	△30
株主資本合計	4,961	4,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198	238
評価・換算差額等合計	198	238
純資産合計	5,159	5,164
負債純資産合計	18,253	20,187

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)
売上高	5,403	5,383
売上原価	3,978	3,953
売上総利益	1,424	1,430
販売費及び一般管理費	1,226	1,338
営業利益	197	91
営業外収益		
受取配当金	10	12
業務受託料	-	6
その他	6	9
営業外収益合計	16	27
営業外費用		
支払利息	32	31
その他	10	9
営業外費用合計	42	40
経常利益	171	78
特別損失		
環境対策費	-	8
固定資産売却損	9	-
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	9	10
税引前四半期純利益	161	68
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	22	26
法人税等合計	25	29
四半期純利益	136	39

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,889	1,514	5,403	—	5,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,889	1,514	5,403	—	5,403
セグメント利益	82	237	319	△122	197

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△122百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△122百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,716	1,667	5,383	—	5,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,716	1,667	5,383	—	5,383
セグメント利益	△155	371	215	△124	91

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△124百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△124百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。